

特集

『ふくしのまちづくり講座』②

前回に引き続き、『ふくしのまちづくり講座』を紹介します。

その前に前回のおさらい『ふくしのまちづくり講座』とは…?

「ふくしのまちづくり講座」は、校(地)区単位で講座を開催し、参加者が改めて地域のことを学んだり、活動者との交流を行うことにより、地域福祉活動(ボランティア)への関心を高めてもらうことを目的としています。また、これらを通して、地域で活躍していただける新たなボランティアの発掘を図る講座となっています。

平成30年度『ふくしのまちづくり講座』(八幡東区・八幡西区・戸畑区)の取り組みで、参加された皆さまのご意見

1. 八幡東区・枝光第二地区

『みんなでつくる! うごかす! 枝光第二の元気プラン』

今後の地域について考えるために研修を開催した。地域のみんなで自分の地域の良い所、悪い所を話し合うことで、顔を合わせて話すことの重要性について気づくことができた研修となった。これからも地域の会議を活用して、話し合いを継続していきたい。



2. 八幡東区・尾倉第一地区

『安全安心なまちづくり 見守り・助け合いの尾倉第一地区』

安全安心なまちづくりについてのテーマで3日間研修を開催した。ご近所で見守り・助け合いながら暮らしていくことの重要性について学ぶことができた研修となった。これからも地域で協力しながら誰もが安全で安心して暮らせるまちをつくりたい。



3. 八幡西区・黒畑校区

『人生100年! このまちに、もっと住みたい! 黒畑』
～幸せあふれる福祉のまちをめざそう～

新規福祉協力員確保をテーマに3日間研修を開催した。まずは地域に出てきてもらうことを意識し、シナプソロジーなど興味関心を引く内容を取り入れた。最後に黒畑校区の現状などについて講座を行い、参加者全員で話し合った。各回とも多くの方が参加し、結果として活動してくれる仲間(福祉協力員)が13名増えた。今後の一緒に活動できることが楽しみである。



4. 八幡西区・黒崎地区

『元気な地域(黒崎)をつくる!』

地域づくりについてのテーマで3日間研修を開催した。株式会社まちづくり計画研究所の今泉 重敏氏を全3回の講師としてお迎えし、視点を変えることや少しのきっかけで地域を良くしていく仕組みをつくることを楽しく学ぶことができた。また、地域の課題の解決策を考えたことで、今後の発展につながることを期待できる研修となった。



5. 戸畑区・三六地区

『ふれあいネットワークをもっと知ろう』

ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、新たな生活支援のしくみづくりに向けた取り組みを進めていくため、3日間の研修を開催した。天籟寺地区の会長をお招きし、連絡調整会議の紹介をしていただいた。生の声は、具体的にイメージしやすく、これから活動を始めるにあたっての意欲が増した。最終日には、グループワークを行い、活発に意見が飛び交った。「協議の場」の重要性について改めて考えることができ、よりよい地域作りに向けて新たな一歩を踏み出した。



6. 戸畑区・南沢見地区

『「ちょっと助けて」南沢見お助け隊!』

より気軽に困りごとを依頼できるサービスの「お助け隊」立ち上げ計画を進めていくため、3日間の研修を開催した。山口県萩市から、お助け隊として活動しているむつみ事務所をお呼びし、具体的な事例をお話いただいた。最終日には、「お助け隊作戦会議」と題し、グループワークを行い、南沢見地区独自のルール決めやお助け内容を皆で意見を出し合って考えた。これからのお助け隊の発足が楽しみである。



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」②7

ひとづくりは自分づくり

●私の出来る地域貢献

北九州市は自然災害のリスクが低い。私たちは、きっと何も起きることはないと思込んでしまう。これは、近年自然災害で被災した地域も同じだったのだと思う。まさか自分の住むまちで災害が起こるなんて…誰しもが思っていたのではないだろうか。“想定できない”“50年ぶりの”近頃はよく聞く言葉になってしまった。

6月末の日差しが強い午後、若松区浜町地区のふくしのまちづくり講座のひとつに、講師として参加させていただいた。豪雨災害を想定した避難場所までの安全点検を兼ねた障害理解と支援体験。地域の皆さんは、誰ひとり取り残さない防災意識が高く、こちらから自然と熱が入る。地域活動が皆無の私としては、地域に貢献できていないという負い目があり、せめて何か返せたらとの思いもあった。

●“ひとづくり”は“自分づくり”

講座に関わらせていただく機会は大変貴重で、多くの人と関わらせていただきコミュニケーションをとることで、お互いが知らないことや気づかなかったことを知り理解が深まる。

地域のつながりが強いまちは災害にも強いまちだ。令和元年度第15号台風での千葉の停電は記憶に新しい。『行政は

北九州市立東部障害者福祉会館

館長 森 聖子 さん



大災害では来られない」と、日ごろから防災訓練をしていた地域は、地域での支え合いが功を奏し、共助が上手くいったと聞く。

ふと、子どものころを思い出すときがある。窓も開け放しで網戸の向こうから挨拶していく近所の人。コンビニもなく、隣家に醤油や米を借りたこと。お互いが干渉しない、心地よい空間を手に入れた代償が、つながりの弱いまちにしてしまったのではないだろうか。

ひとづくりは結局自分づくりなのだと思う。甥が難病になり腎移植のドナーになった。しあわせづくりも一人ではできない。地域に関わらせていただき「障害のある・なしや年齢に関係なく、誰もが暮らしやすい共生社会の実現」に向けて、少しでも力になりたいという思いを再認識させていただいた。地域に関わらせていただいた浜町地区の皆さんに感謝の言葉を添えたい。皆さんの熱心さで気持ちを新たにできました。充実した時間をありがとうございました!

受講者募集

『企業の社会貢献活動セミナー』を開催します!

このセミナーは、現在企業で社会貢献活動を担当されている方や、これから始めてみたいと興味を持っている方のさらなる活動の発展のため、また新たな社会貢献活動をしていくためのきっかけや方向性をみつける講座となっています。

今回は、小桐 登(おぎりのぼる)さん(岡山県ボランティア・NPO活動支援センター CSR相談員)を招聘し、地域とともに成長する社会貢献活動について考えていきます。ぜひご参加ください。

- と き / 令和2年1月24日(金) 13:30~15:30
- と ころ / ウェルとばた12階H・I研修室(戸畑区汐井町1-6)
- 参加費 / 無料(定員20名)
- 申込み / 令和2年1月10日(金)までに 電話(☎881-6321)でお申込ください。



小桐 登 さん
(おぎりのぼる)

岡山県ボランティア・NPO活動支援センターCSR相談員

1955年長崎生まれ。1978年香川大学経済学部卒業、同年 テイク株式会社(現株式会社トンボ)入社。在職中に、学校制服の商品開発・販促を24年担当、デザイナー・リサイクル制服等を手掛ける。その後、環境部門に10年従事。真庭市とのカーボンオフセット契約や森づくり事務局、ISO14001事務局、CSRレポート編集事務局、法務・知財を担当し2015年に定年退職。2016年4月~岡山ボランティアNPO 活動支援センターで、SDGs基礎講座およびCSRを担当。任意団体SDGsネットワークおかやま事務局現職、一般社団法人おかやまエコサポーターズ代表理事。岡山県中小企業3R推進アドバイザー、岡山県地球温暖化防止活動推進委員として環境イベント、出前講座の講師を行う。個別契約でCSRコンサルティングも実施中